虫歯予防にフッ化物は有効、さらなる利用の拡大は？

五間（ごま）　くみ子

問 健康な歯を生涯保つために、幼児期からの歯科保健は重要であると考える。市で行っている虫歯予防の対策は。

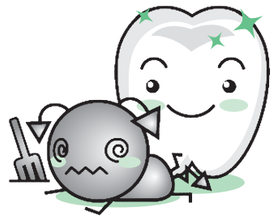
答 乳幼児健診で、歯科検診やブラッシング指導、フッ化物歯面塗布等を実施している。

問 フッ化物の有効活用に対する市の考えを聞きたい。

答 フッ素を利用した虫歯予防の有効性は認識している。虫歯予防の手段の一つとして今後も乳幼児健診や虫歯予防イベントなどで、保健指導と合わせてフッ化物歯面塗布を実施するなど、フッ化物の有効活用を図っていきたい。

問 フッ化物洗口を各小中学校で取り入れる考えは。

答 現在市内９校で希望者にフッ化物洗口を取り入れている。今後こうした取り組みを各学校に広めていくかどうかは、市保健センターと連携を図る中で方向性を見極めていく。



早期発見のがん検診と予防ワクチンの接種、市の対応は

問 乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券導入による効果と結果を踏まえた市の方針は。

答 すべての年齢階層ごとで受診者数が増えている。個別通知による受診勧奨は新規の受診者数に効果があった。このことを踏まえ平成23年度も事業の継続をしていく。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種に正しい情報を発信していく必要がある。その具体的な取り組みは。

答 接種対象者や保護者に対し、正しい情報を発信していく必要性を感じる。個別通知での啓発も考えていきたい。

軽自動車税 誤課税の対応

永田（ながた）　勝彦（かつひこ）

問 自動二輪車の二重課税が発生、課税誤りの納税者への説明遺漏。二重課税が発生しない対策を講ずるべきでは。

答 早速、当該納税者へ訪問し謝罪をした。名義変更があったにもかかわらず、新旧所有者に課税の件は、今後、事務処理を見直して、二重課税防止対策を講じ、誤課税を未然に防いでいきたい。

市有地の払い下げ

問 旧川本町当時、保育園用地取得に苦慮した。一括利用を図っていた土地を割き、対応した地権者に優先的払い下げをすべきでは。

答 田中保育園の跡地については、前地権者を対象に売り払いを検討していく。

深谷市上原・藤沢地区の工業団地誘致

問 企業誘致を標榜する我が市として大変重要な事業。関係する地権者のほとんどから賛意が得られると考えられるが、難しい局面の際の対応・対策について強い意志を問う。

答 賛同いただけない方には、本工業団地の必要性を説明し、粘り強く対応したい。また、市長・副市長をはじめとする全庁的な取り組みとしており、最大限努力していきたい。

瀬山信号機の改良

問 深谷市瀬山から１４０号への進入の「瀬山入口信号」の手押しボタンは車両運転者から遠すぎる。至近へ移動は考えていないのか。

答 押しボタン信号機は歩行者のためのもので位置変更は難しい。

瀬山入口信号手押しボタン

平成23年度組織改正について問う

田嶋（たじま）　均（ひとし）

問 こども未来部について、教育委員会、福祉健康部とのすみ分けをどう考えるのか？

答 こども未来部は、幼少期から成人までの環境整備を使命とする。教育委員会は、学校教育を中心とした教育活動の推進を、福祉健康部は、生活弱者や高齢者、障害者サポートを使命とする。

問 こども未来部設置により、学校教育課は、教育に専念できるのか？放課後の児童・生徒の問題は、こども未来部の範疇になるのか？

答 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

問 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

答 こども未来部は、とりまとめの部署となるが、問題解決に導くには最初に相談のあった機関が主体となって対応していくことが欠かせず、関係機関と相互に連携をとり児童・幼児虐待に対応する。

総合支所はどう変わるか？

問 組織改正による総合支所の業務内容はどのように減るのか？特に福祉関係は？

答 福祉健康関係は、専門業務や発生件数の少ない業務を本庁で取り扱うこととする。総合支所全体で、96％の事務処理を従来どおり窓口で扱う。

問 サテライト市役所型公民館の移行に対する住民合意形成の考え方は？

答 一定の方向性が示せる段階になったら、まずは市民代表である議員皆様に説明する。

放置自転車引き取り時にかかる手数料について

三田部（みたべ）　恒明（つねあき）

問 放置自転車を撤去した後の対応は自治体によってばらつきがある。現状6カ月預かっているが、引き取りに来る所有者の割合は？

答 今年度引き取り割合は14・6％。昨年度は13・9％。保管期間は条例上3カ月となっているが、シルバー人材センターや自転車商組合に譲渡後、廃棄処分をするまでに6カ月程度かかる。

問 自転車の引き取り手数料・保管料金も自治体によって差がある。本市では無料で引き渡しているが、手数料・使用料金見直しの中で、保管場所の確保、所有者への撤去知らせ等、コストがかかることから、手数料も見直すべき。

答 引き取り割合が15％以下と低く、有料にした場合はさらに少なくなることの懸念がある。経費がかかることから、手数料をいただくことは妥当な手段と考えられる。今後、調査・研究していく。

保管中の放置自転車

障がい者施策について

問 市内循環バスへの障がい者本人割引を検討すべき！

答 本市以外のすべての市町村バスは、一回利用ごと。本市では一日乗り降り自由１００円という設定は、県内で最も低額な設定であり、今のところ、料金割引制度導入については考えていない。

問 障害者自立支援法改正に伴い、早期に基幹相談支援センターを設置すべき！

答 施行は来年４月であり、役割・機能、運営基準や財政措置など具体的にまだ示されていない。国や県、近隣市の動向等、注視していきたい。

●人事案件

■深谷市教育委員会委員に
西倉　郁夫（にしくら　いくお）氏
深谷市教育委員会委員岩田虔治（いわたけんじ）氏の任期が平成23年3月31日に満了となりました。このため、後任として西倉郁夫氏を任命することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の任命に同意しました。

■深谷市固定資産評価審査委員会委員に
黒澤（くろさわ）　昭二（しょうじ）氏
深谷市固定資産評価審査委員会委員黒澤昭二氏の任期が平成23年3月30日に満了となりました。このため、引き続き同氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

■深谷市固定資産評価員に
新船（あらふね）　昇（のぼる）氏
深谷市固定資産評価員栗田（くりた）理一（りいち）氏の深谷市職員の人事異動に伴い、後任として新船昇氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

■深谷市行政監察員に
南雲（なぐも）　芳夫（よしお）氏
深谷市行政監察員南雲芳夫氏の任期が平成23年3月31日に満了となりました。このため、引き続き同氏を委嘱することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の委嘱に同意しました。

■人権擁護委員候補者に
茂木（もてぎ）　誠子（せいこ）氏
人権擁護委員茂木誠子氏の任期が平成23年6月30日に満了となります。このため、引き続き同氏を推薦することについて市長から意見を求められ、審議の結果、異議ない旨回答いたしました。

請願の審査結果

請願第40号　（採　択）
深谷市岡部地区用排水維持管理連合会にたいする運営費補助金の継続について
深谷市人見４８２
深谷市岡部地区用排水維持管理連合会連合会長
伊藤幸徳（いとうこうとく）ほか４人

〈ふかや市議会だよりは、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL573－6563）へご連絡ください。〉